



交通のご案内

- 長野自動車道・麻績I.C.より……………車約25分・18キロ
- 上信越自動車道・上田菅平I.C.より……………車約25分・17キロ
- 北陸長野新幹線・東京駅～上田駅……………1時間20分
JR上田駅より青木行きバス……………約30分・12キロ

お問い合わせ先

青木村・青木村教育委員会
 〒386-1601
 長野県小県郡青木村大字田沢3252
 TEL:0268(49)2224 FAX:0268(49)3890



のんびり歩こう
くまなく知ろう

悠久の時の流れを体験する…

1 国宝大法寺三重塔 国宝

惣門から参道を登ると正面に観音堂があり・西北の小高い丘に三間四方の檜皮葺・三重塔(13・8m)が中空に舞うツルの羽のような優雅な姿をみせる東山道を旅する人々は「見返の塔」という・大正9年解体修理の折りに・正慶二年(1333)正月二十六日に建立した墨書を発見・建築に携わったのは大巧・天王寺四良殿・小番匠七人御わたりとある・塔の一階部分の来迎壁・柱・長押しに彩色豊かな花鳥図があり・この度文化庁により復元された



2 大法寺観音堂厨子及び須弥壇 国重要文化財

厨子は(高さ3m)大型・方一間の入母屋造で禅宗様・鎌倉時代の作・厨子の屋根の棟の左右に鴟尾をつけ木造では日本最古・須弥壇は厨子を載せている・上下に線形をつけ腰のくびれた典型的な禅宗様であるが厨子と同じ鎌倉時代の作と寺伝がある・識者は室町時代の作であると云う



3 大法寺・観音堂十一面観音立像 国重要文化財

大法寺の本尊(身丈170cm)桂の一木造・平安時代の十一世紀の作と推定・眼は両眼を閉じ・軽く開いた唇・眉の美しい曲線・面長でふくよかな頬は慈悲の相を表す・頭上には仏面11体があり三面には・忿怒面を持つ



4 十一面観音の脇侍普賢菩薩像 国重要文化財

普賢菩薩は通常・釈迦如来の脇侍である・寺の伝承が十一面観音の脇侍として保存され・指定の際の仏名である・身丈(107cm)十一面観音と同じく柔和で美しい姿

5 推定東山道・浦野駅跡 村指定史跡

昭和50年4月・浦野駅と推定される当郷・岡石・惣門地籍を発掘調査・奈良・平安時代の遺物は発見されたが駅の建物遺構は確認できなかった・後方の東日向には駅舎といわれる名刹大法寺がある



6 黒丸城跡 村指定史跡

当郷・寺村の上方・飯綱山の西山麓の稜線に築かれた・中世の山城で・本郭は東西8m・南北18mで全容は南斜面300mにわたる階段状に帯郭があり・東西は深い渓谷・奥まった所に水手があり・要塞堅固な山城で越前の朝倉氏との関係を云々する向きもあるが不明・東昌寺が朝倉氏菩提寺の心月寺の末寺であった事からの推測か?<標高735m>



7 村松の宝篋印塔 県指定文化財

基壇に銘文があるのは全国的に稀で村松藤次郎が田畑を善福寺に寄進した旨・沙弥朝阿が貞治四年十二月(1365)と記す

8 廃昌法寺・千手観音立像 村指定文化財

久保観音堂・胎内銘によれば慈覚大師の御正作也・仁寿辛未(851)とあり藤原時代の名作・後世の修復が悪く残念



11 木立の子安地藏 村指定文化財

木立の地藏堂の庭にある丸彫の石座像・母子健全を願う優しい顔の名作



12 子檀嶺神社の狛犬 村指定文化財

室町時代・文明7年(1475)の胎内銘がある



13 阿弥陀堂の六地藏幢 村指定文化財

六角形の幢の中を剝り抜き・六体の地藏が入っている・竿には元禄四年九月の銘がある



9 塚穴古墳 村指定史跡

村松・原地籍・通称小山の頂きにあり・上小地方では最大の円墳・七世紀の築造・副葬品は馬具・刀剣・勾玉など数十点・墳丘の底辺18m・高さ4m・葬者不明・日本霊位記にある他田舎人蝦夷の祖か?東山道を直下にする事から浦野駅の駅長の墓か?

10 子檀嶺岳山麓の風穴 村指定史跡

子檀嶺岳(1223m)から・崩落し堆積した岩石を吹き抜ける冷気を利用斜面に城壁を思わせる・石積を施す・大正八年青木風穴株式会社を設立・養蚕業の盛んな地域で蚕種の保存のために利用・温度の変化が極小で2月平均気温0度・真夏の7~8月で15度位・近郷の養蚕業者が利用・蚕種抑制の自然の保冷倉庫・今も中に入ると冷気を感じる<建物容積・間口8m 奥行17m 深さ4m>



14 諏訪社本殿 村指定文化財

中挾の豊受皇大神宮境内にある桃山時代の作・上野山から移建当時は朱塗り「三間社流れ造」



15 享保義民 新七稻荷 村指定
史跡

中狭村の組頭・平林新七の尽力により年貢45歳の減免に成功したと伝えられる。墓は月夜平の奥にあり、新七の死後46年を経た天明4年に(1767)上野山に「新七稻荷」として祀られた



16 滝仙寺の宝篋印塔 村指定
文化財

仁王門の南側の高台に高さ4mの巨大塔身の異形宝篋印塔。四面に梵字あり、並に段形階段がないのどの塔か不明の向きもある。下部塔身の三面に、宝篋印陀羅尼経と銘あり。宝篋印塔とする裏面には「施主善男女 享保四年六月」とある(1719年)

17 滝仙寺の金剛力士像 村指定
文化財

室町時代の作。近郷での名作高僧・法燈円明国師が開山した旧瀧泉寺から移建された仁王門は旧寺地に面している



18 法燈国師宝篋印塔 村指定
文化財

滝山の山麓・寺地に臨濟宗皆神山龍泉寺(現・滝仙寺の前)を開創した高僧・法燈円明国師の墓と伝承。室町時代初期の造立



19 文化義民 勇吉宮 村指定
文化財

越前勇吉は入奈良本の組頭で文化6年(1809)庄屋の非道と市の沢に新宿の設置に反対。藩に訴願・願いは聞き入れられたが、永年となり獄中死。墓は深山の小高い丘にある。勇吉宮は与兵衛明神の下方・30m上権現堂の入口にある

20 天和義民 与兵衛明神 村指定
文化財

天和二年(1682)の越前首謀者・増田与兵衛は、高圧的な庄屋の横暴を藩主に訴出。願いは聞き入れられたが、掟により父子3人は夫神川原で処刑。墓は滝仙寺の傍にある77年後の宝暦9年(1759)に氏神として明神に祀られる



21 沓掛の野生里芋 県指定
天然記念物

東南アジア原産の野生里芋の伝え。沓掛温泉の湯尻に自生。縄文時代食糧として利用。渡来植物で珍重な天然記念物



22 宮淵神社の神楽殿 村指定
文化財

本村の唯一、回り舞台と大夫座がある農村歌舞伎舞台。文久三年の建立。日本演劇研究会に登録された本村での重要建造物

23 文明の五輪塔 村指定
文化財

夫神の通称。日向にあり華祐法印逆修(師匠)右側・祐澄法印入定(弟子)左側。文明16年10月28日の銘。供養塔で室町時代の特色を表す名作



のんびり 歩こう くまなく 知ろう 青木村

AOKI-MURA PLAY GUIDE



田沢温泉
開湯は古く、飛鳥時代後半で、役行者による。若き島崎藤村も滞在し小説の構想を練った「子宝の湯」としたも有名。



信州昆虫資料館
平成16年4月オープン。チョウやクワガタなどの標本を展示しています。
●TEL:0268-37-3988
●開館期間:4月中旬~11月下旬
●休館日:毎週月・火曜日
●開館時間:10:00~17:00 (11月は16:00まで)
●入場料:300円(中学生以下無料)



リフレッシュパークあおき
沓掛温泉の近くにあります。イワナやニジマスの渓流釣りが楽しめます。釣った魚をその場で焼いてもらえます。マレットゴルフ、ローラー滑り台など楽しさ満載です。
●TEL:0268-49-2923
●営業期間:4~11月
●休館日:水曜日(7・8月は無休)
●営業時間:9:00~18:00



沓掛温泉
開湯は平安時代で、国司滋野親王が入湯。眼の病を治したといわれます。素朴な共同浴場、洗い場がある保養地。



横手キャンプ場
標高1,284.5mの十観山中腹に位置し、青空と豊かな森林に囲まれた大パノラマが満喫できる村営のキャンプ場です。
●TEL:0268-49-0111
●開場時期:4~11月(要予約)
バンガロー・オートキャンプ・テントサイト・炊事棟・水洗トイレ



青木村 お楽しみガイド

種別	文化財	所在地
1	国宝	国宝大法寺・三重塔 当郷区 東日向
2	重要文化財	大法寺観音堂厨子及び須弥壇 同
3	同	大法寺・観音堂十一面観音立像 同
4	同	十一面観音の脇侍普賢菩薩像 同
5	村指定史跡	推定東山道・浦野駅跡 当郷区 大庭
6	同	黒丸城跡 当郷区 東日向
7	県指定文化財	村松の宝篋印塔 村松区 生地
8	同	鹿昌法寺・千手観音立像 村松区 三ツ山
9	村指定史跡	塚穴古墳 村松区 原
10	同	子檀嶺岳山麓の風穴 村松区 本山
11	村指定文化財	木立の子安地蔵 入田沢区 東立谷
12	同	子檀嶺神社の狛犬 中村区 宮下
13	同	阿弥陀堂の六地藏 中村区 林口
14	同	諏訪社本殿 中狭区 上塩野
15	村指定史跡	享保義民・新七稻荷 中狭区 上野山
16	村指定文化財	滝仙寺宝篋印塔 下奈良本区 原
17	同	滝仙寺・金剛力士像 同
18	同	法燈国師宝篋印塔 下奈良本区滝山
19	同	文化義民・勇吉宮 入奈良本区上権現堂
20	同	天和義民・与兵衛明神 同
21	県指定天然記念物	沓掛の野生里芋 沓掛区 湯尻
22	村指定文化財	宮淵神社の神楽殿 沓掛区 沖
23	同	文明の五輪塔 夫神区 中戸
24	同	宝暦義民の碑 夫神区 中戸
25	同	夫神庚申堂の青面金剛像 夫神区 中戸
26	長野県宝	日吉神社本殿 殿戸区 神門
27	村指定文化財	大姥神像 殿戸区 愛宕山

24 宝暦義民の碑 村指定
文化財

宝暦騒動は上田藩を揺るがした百姓一揆で農民側の大勝利。事件後160年を経た大正13年4月、地元夫神区の発議により追悼供養し石碑を建立。碑の裏に「浅之丞・半平二氏外一同「為追福供養」とある

25 夫神庚申堂の青面金剛像 村指定
文化財

中戸にある目が三つ・六本の腕と怒った顔。二人の童子と三匹の猿を従え江戸期の名作



26 日吉神社本殿 長野県宝

殿戸区の神門に鎮座する中世の浦野庄の総社。古くは山王大権現。浦野庄は天津の日吉大社の社領であり、地元の豪族が勧請した「五間社流造り見世棚造」社額から永録年間に移建。以前は大法寺・鬼門に当たる山王平にあり、県内では最大。平成の修理前は瓦葺・こけら葺に復元



27 大姥神像 村指定
文化財

殿戸区のア宕山にあり、大きな乳房が特徴の石像。江戸中期に修験者の作との伝承

